ALIA

Association of Living Amenity

一般社団法人リビングアメニティ協会（ALIA）は、
住宅設備および建材に関わる企業・団体で構成される法人です。
快適な住空間の提供をめざし、
調査研究や情報の収集・発信に積極的に取り組んでいます。

一般社団法人リビングアメニティ協会

ご挨拶

一般社団法人
リビングアメニティ協会　会長
吉田　忠裕

一般社団法人リビングアメニティ協会（ALIA）は、優良住宅部品（BL部品）の開発・普及推進のため1976年に創設されたBL推進協議会を、1990年10月に発展的に改組して誕生し、2012年4月より一般社団法人化いたしました。

当協会は、「優良な住宅部品の普及により快適な住生活の改善を図る」という目的に沿って活動を続けており、機能的で良質な住宅部品の供給促進と快適な住空間作りのための調査研究及び情報交換を推進しています。

近年の住宅に関する政策は、2011年に改定された「住生活基本計画（全国計画）」に基づき、安全・安心で豊かな住生活を支える生活環境の構築、住宅の適正な管理及び再生、多様な居住ニーズが適切に実現される住宅市場の環境整備、重層的な住宅セーフティネットの構築等の取り組みがなされています。

中でも、省エネ性・耐震性等の住宅の品質・性能の向上においては、東日本大震災に伴う電力の供給力の低下や、住宅・建築物分野におけるエネルギー消費の増加といった課題に直面する環境下にあることもあり、2020年までに全ての新築住宅・建築物を段階的に省エネ基準への適合が義務付けられました。他にも、既存ストックの省エネ改修の促進や、住宅・建築物や設備の省エネ性能の情報活用といった方向性が示されるなど、住宅部品が果たすべき役割は大きなものとなっています。

住宅の長寿命化に向けた取り組みが進む中、それを構成する住宅部品もまた、長期にわたり良好な状態で使用されなければなりません。そのため、定期的な点検を行うことで、不具合、劣化、異常等を早期に発見し、整備、修理、交換することを当たり前化する風土の醸成が望まれます。そこで、当協会では「10月10日は住宅部品点検の日」と制定するなど、住宅部品点検の推進に向けた環境整備や調査研究、情報発信を行っています。

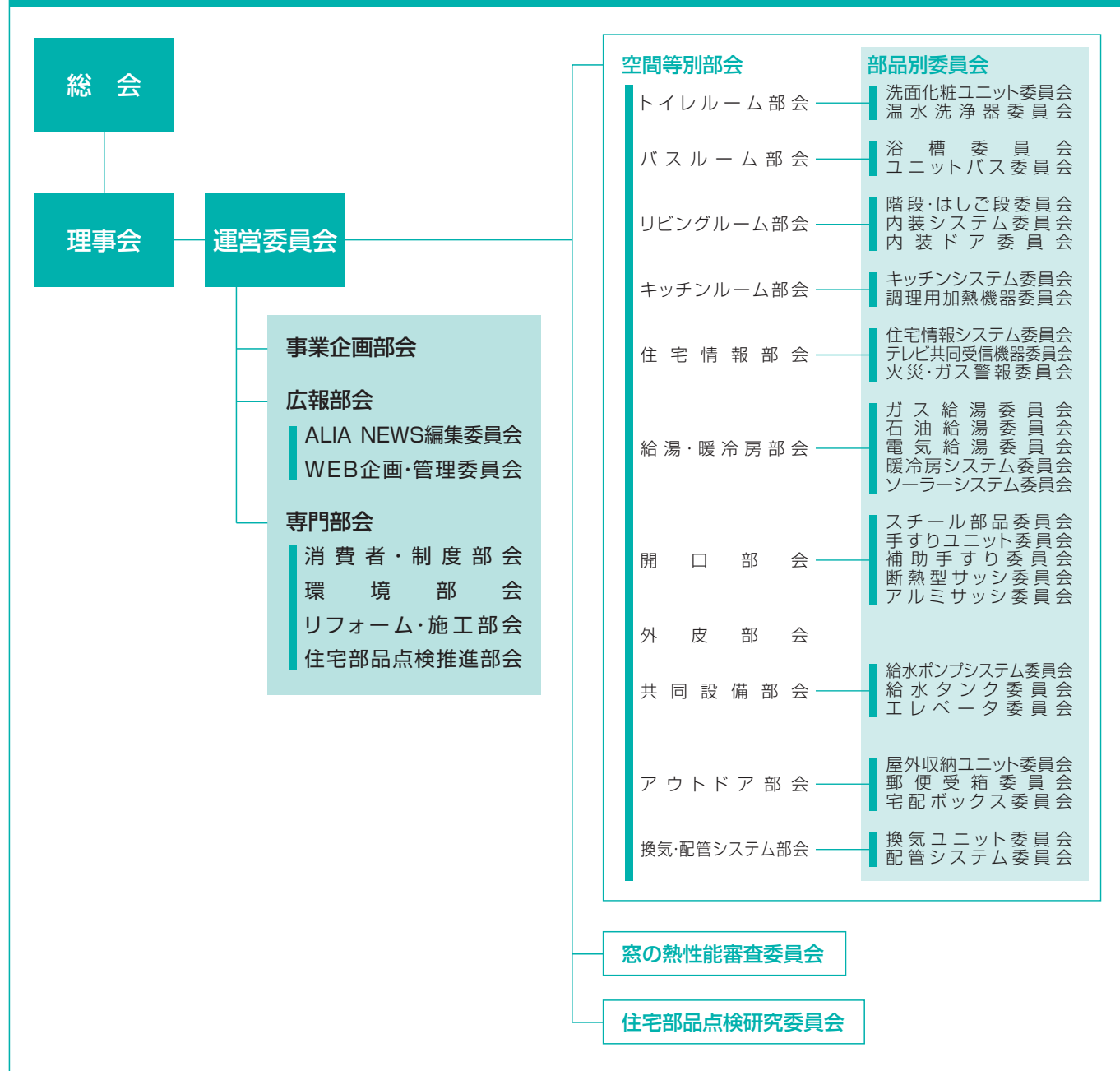
また、2020年までに市場規模の倍増が進められているリフォーム分野への対応につきましては、省エネ化・耐震化へのニーズが今後ますます増大することを視野に、国の政策等に関する情報発信を行う一方、業界を取巻く事業環境の実態把握にも努めています。消費者ニーズを正しく掴み、それに的確に応えられる商品や仕組み作りに励むことは、一企業が行うことは当然のこととして、業界全体としてもより良い住宅、住環境を目指す上で、共に努力していくことが大切です。

当協会は、様々な種類の住宅部品を生産する多くの企業が会員であることを生かしながら、国土交通省のご指導、住宅金融支援機構、ベターリビング、ベターライフリフォーム協議会との協調、さらに、関係諸団体とも連携し、快適でゆとりある生活空間の形成を目指してまいります。

今後とも皆様のご協力をお願いするとともに、さらに多くの企業の積極的なご入会と活動へのご参画を期待いたします。

活動内容

■優良な住空間の在り方及びその形成方法に関する調査研究
■住宅部品の機能、性能に関する調査研究
■優良な住宅部品に向けた技術、システムに関する調査研究、開発等
■住宅部品の供給（流通を含む）や施工に関する調査研究
■住宅部品の使用、利用に関する調査研究
■住宅部品に関する情報の収集、提供及び優良な住宅部品の普及、啓発
■政府、関連団体等に対する提言、要望及び意見具申等

委員会活動内容の紹介

●専門部会

住宅の省エネルギー化への対応、リフォーム需要の拡大への対応、長期使用時の安全安心な住宅部品のあり方の追求、優良住宅部品の普及促進、情報の収集と発信等々、数多くの住宅部品メーカーで構成される団体ならではの、横断的な活動を行っています。また、行政の動向をいち早く知ることができたり、行政に対し提言できる場が設けられたり等のメリットがあり、会員相互の情報交換も活発に行われています。

●空間等別部会

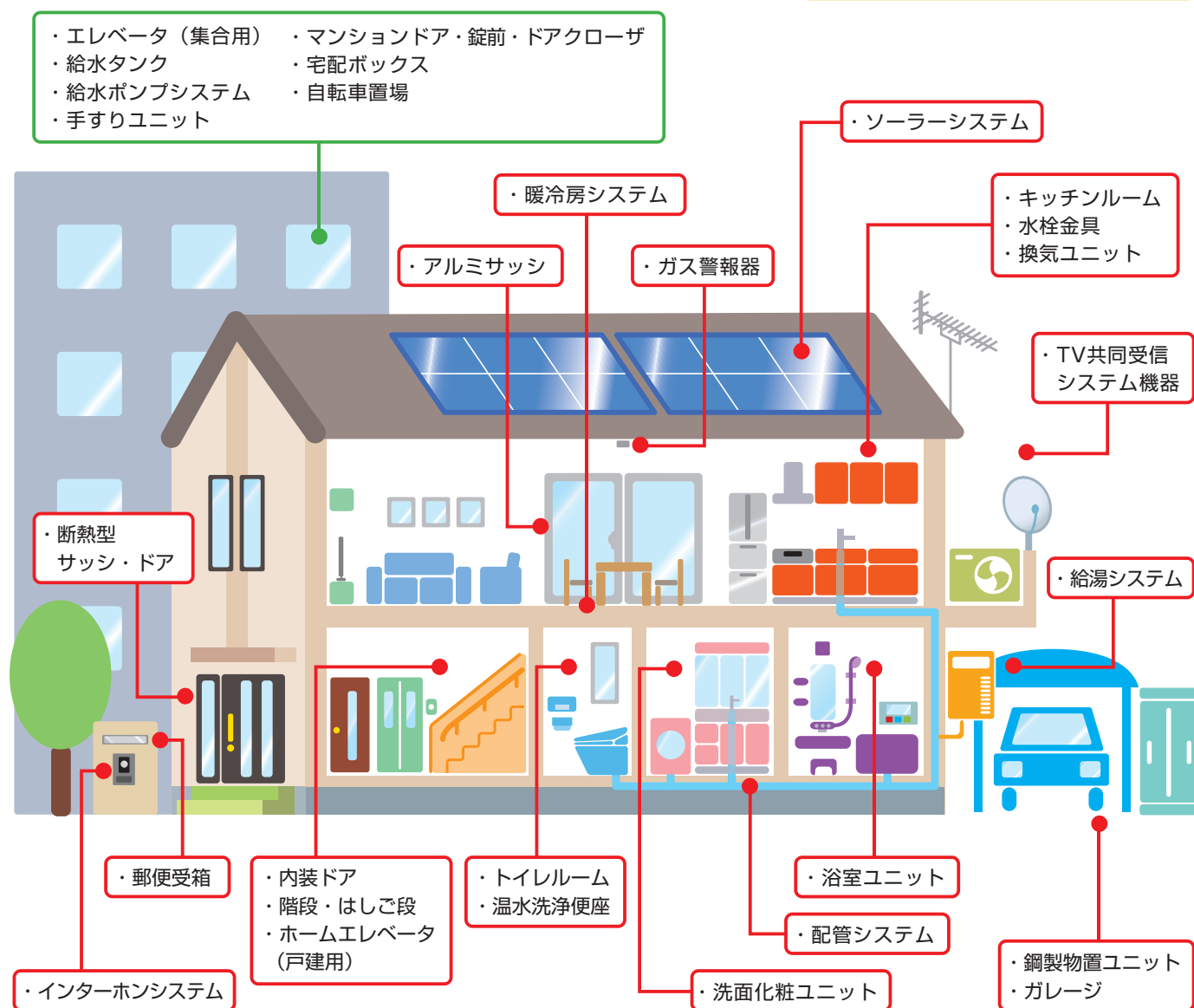
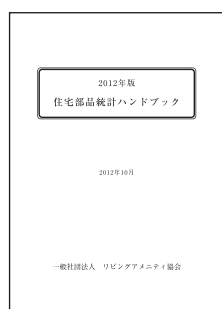
バス、トイレ、キッチン等各空間の観点から、上記専門部会の活動内容に関するテーマを行っています。また、その空間に関わる住宅部品メーカーが集まって、その空間独自の課題を抽出し、調査検討を行っています。別途、講習会や工場、施設等の見学会も企画開催されますので、知識の蓄積や見聞を広めること、さらには会員相互交流により自社のレベルアップをはかるのにとても有効な活動を行っています。

アメニティCafe

住宅部品や建材について、機能や注意点、お手入れなどの基礎知識の他、設計・施工や維持管理の際に確認していただきたいことを解説しています。

詳細はホームページにて
アメニティCafe　検 索

- エレベータ（集合用）
- 給水タンク
- 給水ポンプシステム
- 手すりユニット
- マンションドア・錠前・ドアクローザ
- 宅配ボックス
- 自転車置場

- ソーラーシステム
- 暖冷房システム
- キッチンルーム
- 水栓金具
- 換気ユニット
- アルミサッシ
- ガス警報器
- TV共同受信システム機器
- 断熱型サッシ・ドア
- 給湯システム
- 郵便受箱
- 内装ドア
- 階段・はしご段
- ホームエレベータ（戸建用）
- トイレルーム
- 温水洗浄便座
- 浴室ユニット
- 配管システム
- インターホンシステム
- 洗面化粧ユニット
- 鋼製物置ユニット
- ガレージ

出 版 物 等

●住宅部品統計ハンドブック

●自分で点検！ハンドブック

●施工ガイドライン

- ●住宅部品の自主点検表
- ●内装建材の警告表示に関するガイドライン
- ●住宅部品VOC表示ガイドライン
- ●換気設計事例集
- ●デジタル放送対応テレビ共同受信機器システムカタログ

住宅部品点検の日

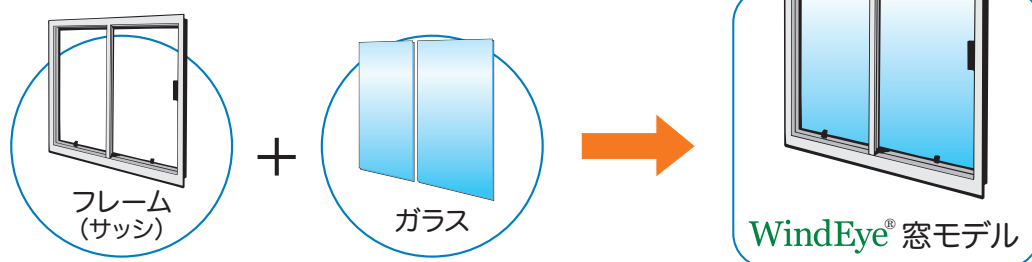
長期に渡って、良質な住宅ストックを維持し、安全で快適な住生活を送るためには、住宅部品をきちんとお手入れ・点検し、必要に応じて交換、修理をすることが重要になります。

これまで、当協会では、「住宅部品の長期使用に関する研究会」で調査・検討し、その成果として「住宅部品の自主点検表」等の発行・公表を行うとともに、各種住宅部品取扱説明書等に住宅部品の点検活動に関する記載の充実を進めています。一方で、広く国民の意識を醸成していくことも必要であることから、住宅部品をご使用されているお客様に対して、お手入れや点検の意義をご認識いただくこと、そしてより安全に、安心して快適にご使用いただくことを目的とする「住宅部品点検の日」（10月10日）を制定しました。制定宣言については **こちら** をご覧ください。
（http://www.alianet.org/residentialpart-check/）

窓の総合熱性能評価プログラム

WindEye® で**窓全体**（フレーム+ガラス）の**熱貫流率**（U値）を**任意**の**窓サイズ**で**計算可能**

「窓の断熱性能表示制度」に対応できます

「窓の断熱性能表示制度」対応版

WindEye®の特長

- フレーム、ガラスを一体として評価しています
- 窓の熱性能を評価する国内唯一のプログラムです
- 新しい情報を皆様にご提供していきます
- プログラムの操作は簡単で誰でも扱えます
- ALIAのホームページから無料でご利用できます

●窓の熱性能審査委員会

窓の断熱性能を評価するプログラムWindEye（「窓の断熱性能表示制度」対応版）を開発しました。個別の製品であるサッシ、板ガラスを任意に組み合わせた時の窓の熱貫流率を任意の窓サイズで計算可能となっています。次世代省エネ基準への適合も判断できます。日射熱取得率対応版もあり、個別の製品であるサッシ、板ガラス、ブラインドを任意に組み合わせた時の日射熱取得率の計算に対応しています。

窓の熱性能審査委員会では、これら評価プログラムの表示性能の拡大、窓種の拡充等を図っています。また登録商品数を増加し、より多くの窓に対する情報を提供できるようにするとともに、利用拡大に向けた普及啓蒙を行っています。

一般社団法人リビングアメニティ協会

〒102-0071　東京都千代田区富士見二丁目7番2号
ステージビルディング　6階
TEL.03-5211-0540　　FAX.03-5211-0546
ホームページアドレス：http://www.alianet.org

●電車でのアクセス
JR飯田橋駅　東口･西口　徒歩3分
東京メトロ南北線･有楽町線･東西線
都営大江戸線飯田橋駅　A4出口　徒歩2分